

# IR

Investor Relations

# 2015 News

第51期 事業のご報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

- Contents
- トップメッセージ
  - 財務ハイライト
  - セグメント別事業概況
  - トピックス
  - 会社概要



ソーラーパネルの設置



自動販売機の固定



現場での確認試験



高速道路の防音壁の取付



金属の屋根



集合住宅・学校の耐震補強

安心して暮らせる豊かな街づくりを目指して…

サンコーテクノの製品は、  
皆さまの身近な「安全」を支えています。

当社のアンカーはこんなところに使用されています。

こんなところにサンコーテクノ

<https://www.sanko-techno.co.jp/products/around.php>



## トップメッセージ

5期連続増収増益、最高益を更新。

2020年経営ビジョン達成に向け  
新たな一歩を踏み出します。



代表取締役社長

洞下英人

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績をご報告申し上げるとともに、今後の取組みについてご説明いたします。

### 当期(平成27年3月期)の 業績についてお聞かせください。

**A1** 当社グループが関係する建設市場は、建設資材の不足や人員不足などにより、建設コストの上昇や工事の着工ペースの遅れが懸念されておりましたが、公共投資や民間設備投資が堅調に推移するとともに、太陽光発電市場向け製品の需要が大きく伸長したことから、当期の実績は、売上高が178億35百万円(前連結会計年度比3.6%増)、経常利益は15億9百万円(同2.5%増)と、5期連続で最高売上高・経常利益を更新することができました。

ファスニング事業における主力製品の金属系・接着系アンカー、ワンサイドファスナー、電動油圧工具の販売が堅調だったほか、リニューアル事業においては、太陽光発電関連の新設および耐震補強工事の受注が好調に推移いたしました。センサー事業においては、メンテナンス費などで安定した利益を確保する一方で、大手計測器メーカーと共同開発したアルコール測定器を新発売いたしました。

### 2010年から5年続いた中期経営 ビジョンを振り返っていかがですか？

**A2** 安全・安心・環境をキーワードに市場創出を図るため、組織再編を皮切りに、新基幹システムの導入、そして人事制度の再構築と、経営基盤である3つ

#### ■ 経営理念

奉仕は、真価の追求なり  
啓発は、未来の追求なり  
協調は、繁栄の追求なり

#### ■ 社 是

創り、活かし、満たす  
「人のお役に立つために、  
創造提案型企業をめざす」

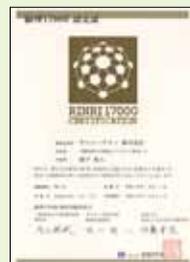
#### ■ 社 訓

感性と実践力を磨き、  
健康で豊かな環境づくりに  
貢献します

#### ■ 心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。それは「心の経営」です。心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。こうした日々の実践を通して活気あふれる職場づくりを目指しております。

「社団法人倫理研究所」の  
ライセンス認定企業プログラム  
『倫理17000』の第1号に認定



の大改革を断行し、5つの施策を推進いたしました。お蔭様で、売上高は年間5%の増収を続け、5年前と比較し、売上高は35.7%増、経常利益は759.7%増と強固な体制を構築することができたと実感しております。

## 新中期経営ビジョンの概要をお聞かせください。

**A3** 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年をターゲットに、今後5年間の安定成長を目指し、売上高成長率5%以上を目標においた中期経営ビジョンを策定いたしました。戦略を遂行する過程で、売上高200億円を突破したいと考えております。

その一環として、今年度より事業部制から機能別組織(マトリックス)へと体制を再編いたしました。事業部制によるプロジェクト管理にはメリットも多い反面、業務範囲が広すぎて課題に集中できなかつたり、リソース不足に陥ることもありました。これを改善するため、開発・製造・営業を機能別に横並びにして部門間の連携を強め、さまざまな経営課題に対して柔軟かつスピーディーな対応ができるようにいたしました。

更に、安定成長に向けた取組みを3つ挙げますと、1つ目は「おもてなしの発想」によるブランド力の向上です。開発、製造、物流、工事に至るさまざまな工程の間で、常に付加価値と品質向上を意識しながら、高度な製品やエンジニアリングサービスを生み出し、最終的には質の高いブランド力に繋げたいと考えております。2つ目は、土木分野への展開です。現場のより近いところで独自工法や製品の開発に取り組めます。3つ目は機能材事業で、アンカーに匹敵する新しい商材の開発に注力してまいります。一方、海外展開については、現在東南アジア圏を中心に販売を展開しており、右肩上がりに売上げが伸びております。日本からの輸出とタイでの生産を更に強化し、販売を強化してまいります。

新しい経営ビジョンのもと、「フォーカス&スピード」を

キーワードに、グループ一丸となって目標達成に向け取り組んでまいります。

## 次期の見通しについてはいかがですか？

**A4** 当社では、2015年度の売上高目標を前年対比105.4%アップの188億円としております(経常利益16億円、前年対比106.0%)。

当社の製品は、建築分野での需要が大きいのですが、今後、市場拡大を期待しているのが土木分野です。現在、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、鉄道網や高速道路などのインフラ整備が加速しております。このため、土木工事で使用されるあと施工アンカーの需要が伸びるものと予想しており、建築以外の土木向け製品の開発と新しい工法開発に注力することで、新たな市場創出の機会を捉えたいと考えております。

### ●中期経営計画の報告



## S.T.G VISION 2020

私たちは ファスニング **独自の締結システムで、安全・安心を提供するモノづくり集団**を追究します

### 5つの視点

**お客様へ...** お客様の期待を超える価値創造を実践し、「SANKOブランド=人」を実現します

**お取引先様へ...** 共育・共創・共生をキーワードに共鳴し合える関係を構築します

**社会へ...** 事業を通じて、安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献します

**株主様へ...** 持続的な利益創出と株主還元により企業価値の向上を図ります

**社員へ...** 自身の成長とチームの達成感(喜び)を共有できる職場環境を構築します

## S.T.G スローガン

グループ一丸となって、**人財・品質・実践力を磨きモノづくり企業を究めます**

ファスニング  
**独自の締結システムとは...**

人と人、人とモノ、モノとモノとを、私たちが有する技術やサービスで、安全と安心の視点から融合し、お客様へシステムとして提供すること

**モノづくりとは...**

モノとは商品・サービスなど、ステークホルダーへ提供するあらゆる価値を表し、「モノづくり=当社独自の価値を創造する」取組みを示す

## 株主・投資家の皆様に メッセージをお願いします。

**A5** 新たな中期経営ビジョンでは、2020年度までを視野に、当社独自の<sup>ファスニング</sup>締結技術を通して、事業の拡大と成長を目指してまいります。ファスニングすなわち締結とは、人と人、人とモノ、モノとモノとを私たちが有する技術やサービスで、安全と安心の視点から融合し、お客様へシステムを提供することであり、そこには人を中心に置いたモノづくりの発想が欠かせません。当社は、お客様から信頼されるモノづくりを基盤に、安定的な成長を目指します。株主・投資家の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様におかれましては、長期的な視野で当社グループの成長を見守っていただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 特集

## 新中期経営計画スタート

当期は当社にとりまして創業50周年の節目となりました。ポスト50周年となる次期からは、2020年までを見据えた新たな中期経営ビジョンのもと、取組んでまいります。

当該ビジョンを遂行するためには、お客様の要望に即応できる「一気通貫体制」、環境の変化に即応できる「フレキシブル体制」へと組織を再編することが、当社成長戦略のキーワードとして掲げる「安定供給」「安定品質」「市場創出」を促進させ、企業価値の更なる向上に繋がるものと考えてお

ります。当期までの3事業部制(ファスニング事業部・リニューアル事業部・センサー事業部)およびSCM本部、経営管理本部から、ファスニング営業本部・エンジニアリング本部・機能材本部・SCM本部・経営管理本部の5つの機能別(本部制組織)体制として、新たなスタートを切りました。また、セグメントにつきましても従来の3つのセグメントから2つのセグメントへ変更いたしました。詳細は右ページをご参照ください。

### GO for NEXT S.T.G VISION 2020

私たちは <sup>ファスニング</sup>独自の締結システムで、  
安全・安心を提供する  
モノづくり集団を追究します

5つの視点

#### お客様へ...

お客様の期待を超える価値創造を実践し、  
"SANKOブランド=人"を実現します

#### お取引先様へ...

共育・共創・共生をキーワードに  
共鳴し合える関係を構築します

#### 社会へ...

事業を通じて、安心して暮らせる豊かな  
環境づくりに貢献します

#### 株主様へ...

持続的な利益創出と株主還元により  
企業価値の向上を図ります

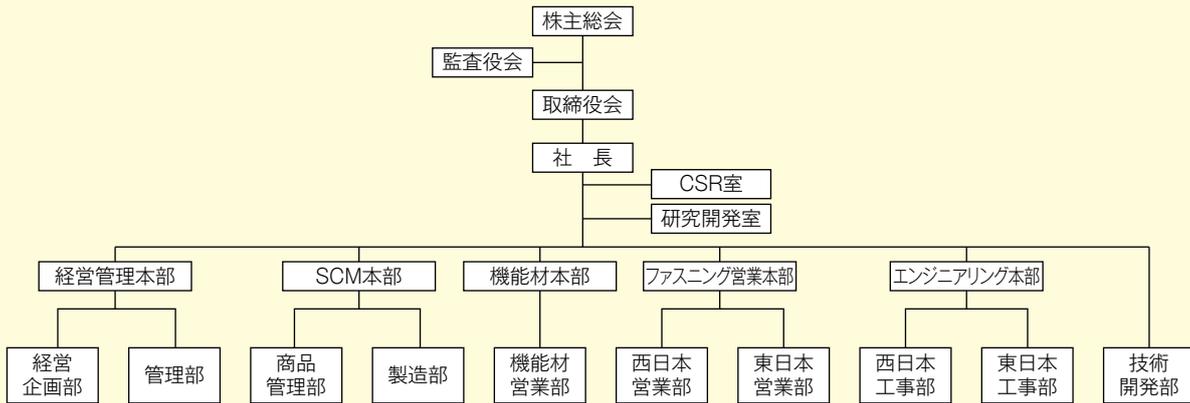
#### 社員へ...

自身の成長とチームの達成感(喜び)  
を共有できる職場環境を構築します

### 企業価値の向上 S.T.G中期戦略マップ



## 機能別 (本部制) 組織体制



### 旧セグメント (ファスニング事業、リニューアル事業、センサー事業の3セグメント)

セグメント	製品群	種別・工法
ファスニング事業	アンカー	金属系アンカー、接着系アンカー
	ドリル・電動工具	大口径・小口径ドリル、アンカー施工工具、確認試験機
	ファスナー	軽量物取付ファスナー
リニューアル事業	工事関連	太陽光関連、建築関連 (耐震補強工事)、土木関連 (一面耐震補強工事等)
	FRPシート関連	FRPシート
センサー事業	センサー、電子プリント基板	アルコール測定器 (据置きタイプ、携帯電話連動タイプ) 車両の表示板用や工事・事故の表示板用など



### 新セグメント (ファスニング事業、機能材事業の2セグメント)

セグメント	製品群	種別・工法
ファスニング事業	アンカー	金属系アンカー、接着系アンカー 
	ドリル・電動工具	大口径・小口径ドリル、アンカー施工工具、確認試験機 
	ファスナー	軽量物取付ファスナー 
	工事関連	太陽光関連、建築関連 (耐震補強工事)、土木関連 (一面耐震補強工事等) 
機能材事業	FRPシート関連	FRPシート 
	センサー、電子プリント基板	アルコール測定器 (据置きタイプ、携帯電話連動タイプ) 車両の表示板用や工事・事故の表示板用など 
	電動油圧工具	鉄筋カッター、鉄筋ベンダー 

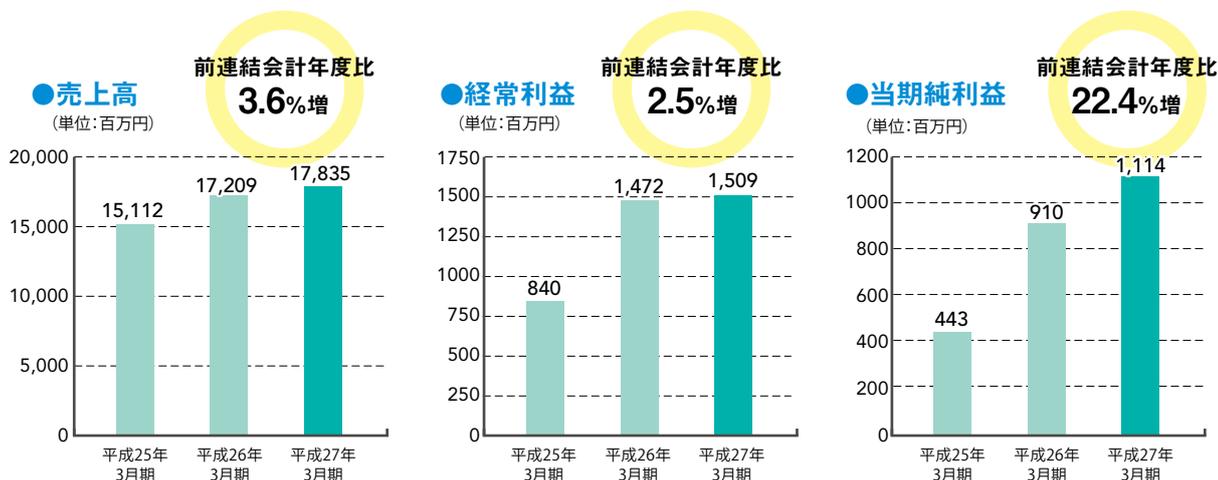
#### 【注釈】

当社の主力事業であるファスニング事業と、それ以外の事業 (機能材事業) とを二分化することで、ステークホルダーに対して、より分かりやすい開示を行う。

- 旧リニューアル事業のFRPシート関連および、旧ファスニング事業の製品群に含まれているドリル・電動工具の一部 (子会社㈱KKが製造・販売する電動油圧工具) を機能材事業へ含める。
- 旧リニューアル事業の工事関連は、ファスニング事業に関わる製品をもとに、当社独自の工法開発や工事管理に特化していることから、ファスニング事業へ含める。

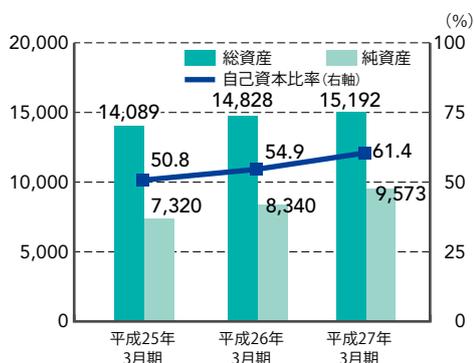
# 財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、モノづくり企業として事業の拡大に努めました。引き続き主力製品のあと施工アンカーの売上が好調であったほか、太陽光発電市場向け製品が好調に推移したことから、当連結会計年度における売上高は 17,835 百万円（前連結会計年度比 3.6%増）となりました。利益面では、高付加価値製品の販売促進やコスト削減の継続も奏功し、経常利益は 1,509 百万円（同 2.5%増）、当期純利益は 1,114 百万円（同 22.4%増）となり、増収増益を確保いたしました。



## ●総資産・純資産 / 自己資本比率

(単位:百万円)



## ●通期業績(要約)

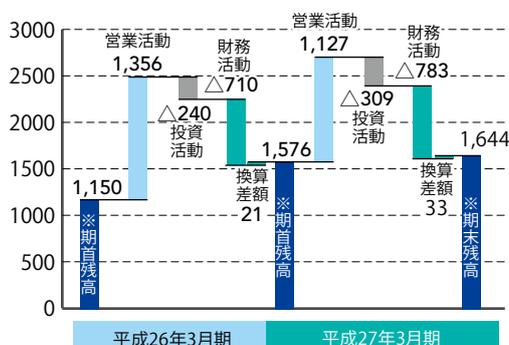
(当連結会計年度:平成26年4月1日~平成27年3月31日 前連結会計年度:平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度	増減
売上高	17,835	17,209	3.6%
営業利益	1,511	1,513	△0.1%
経常利益	1,509	1,472	2.5%
当期純利益	1,114	910	22.4%

## ●キャッシュフローの状況

(単位:百万円)



※現金及び現金同等物

## ●貸借対照表(要約)

(当連結会計年度:平成27年3月31日現在 前連結会計年度:平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度	増減
流動資産	8,640	8,369	3.2%
固定資産	6,552	6,459	1.4%
資産合計	15,192	14,828	2.5%
流動負債	3,610	5,051	△28.5%
固定負債	2,008	1,436	39.8%
純資産	9,573	8,340	14.8%
負債・純資産合計	15,192	14,828	2.5%

# セグメント別事業概況

## ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しております。



## リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強などに活用しております。



## センサー事業

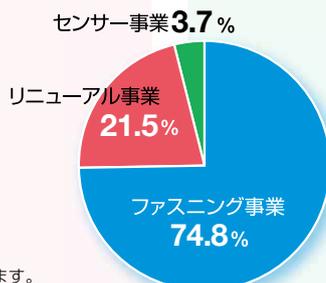
車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っております。



### ●セグメント別売上高構成 (平成27年3月期)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。

※平成28年3月期よりセグメント区分を変更しております。



建設資材の不足などにより工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした堅調な再開発需要や維持保全需要の回復を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーやワンサイドファスナー、電動油圧工具の販売が好調に推移いたしました。

太陽光関連は、メガソーラーの物件や耐震補強工事の受注は好調であったものの、当該事業に伴う販売管理費が増加いたしました。

電子基板関連やアルコール測定器の販売は、前年とほぼ同じ推移となりましたが、利益面はたな卸資産簿価切下げの影響により、前年同期比で減少いたしました。

●売上高  
**13,423**百万円  
●セグメント利益  
**1,170**百万円

●売上高  
**3,854**百万円  
●セグメント利益  
**332**百万円

●売上高  
**665**百万円  
●セグメント利益  
**2**百万円

## Topics

### ●「燃料電池式 業務用呼気アルコール測定器ST-3000」新発売



燃料電池式にする事により、ガス選択性の更なる向上と測定時間の短縮（13秒から5秒）を実現いたしました。また、タブレットやスマートフォンとの連動（拡張性の向上）、停電時の電源供給が止まった状況においても使用可能になるなど、点呼時におけるアルコール測定が今まで以上に多機能かつスムーズで確実なものとなります。今回の開発および製造に関しては、今まで当社が培ってきたアルコール測定器のノウハウをベースに、燃料電池センサーの技術を持つ株式会社タニタとの共同開発製品となっております。

### ●運送事業者向けクラウド型点呼サービス「doco です car Guardian」の提供開始



昨今、大型トラックやバス事業者様の経営環境として、飲酒運転の撲滅に向けた行政の法規制や指導が強化されております。そのような背景において、運行管理者様にとって重要な業務である「点呼業務」をより確実かつ効率的に実施するため、ドコモ・システムズ株式会社は、当社の呼気アルコール測定システム「ALC Guardian」を利用した、クラウド型の点呼サービスを提供開始いたしました。

#### 免責事項

本資料の将来に係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 会社概要

(平成27年3月31日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	318名(連結584名)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工 及び輸出入

## 役員

(平成27年6月24日現在)

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
常務取締役	上石 茂行
取締役	佐藤 靖
監査役	鈴木 英雄
監査役	松岡 省一
監査役	埴 善光

## 関連会社

### 連結子会社

株式会社IKK  
SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.  
SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.  
三幸商事顧問股份有限公司  
株式会社スイコー  
アイエスエム・インタナショナル株式会社

### 持分法適用関連会社

株式会社サンオー

### 持分法非適用関連会社

株式会社イーオプティマイズ

## 株式の状況

(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	8,745,408株
株主数	2,594名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	1,150	13.15
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.23
有限会社サンワールド	680	7.77
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	419	4.80
サンコーテクノ社員持株会	389	4.45
新井 栄	262	2.99
洞下 照夫	215	2.45
株式会社みずほ銀行	178	2.03
資産管理サービス信託銀行株式会社	169	1.93
佐久間 菊子	166	1.89

(注) 1. 1株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式(606千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

## サンコーテクノ株式会社

〒270-0163 千葉県流山市南流山三丁目10番地16

## 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部(平成27年5月21日より)
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.sanko-techno.co.jp/">http://www.sanko-techno.co.jp/</a> )に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式分割について

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、一層の投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的とし、平成26年12月31日を基準日として当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割することを決議いたしました。なお、株式の分割に伴う株主の皆様への実質的な影響はございません。

## 株主優待制度の導入について

当社株式の投資魅力を高め、中長期にわたり多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待を導入いたしました。毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象として、500円分のQUOカード(クオカード)を年1回贈呈いたします。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
**みずほ信託銀行株式会社**  
連絡先  
 **0120-288-324**  
フリーダイヤル

## お問い合わせ先

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の 証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません のでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行について は、右の「特別口座の 場合」の郵便物送付 先・電話お問合せ先・各 種手続きお取扱店をご 利用ください。	特別口座では、単元未満株式の 買取以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく 必要があります。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。

この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。